



よこすか市議会だより

No.60

令和8年(2026年)
5月1日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会議会事務局課]

横須賀市議会

検索



pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会
編集 広報広聴会議



ハイランド保育園と森崎保育園を統合した南こども園が令和8年4月に開園しました



組み替え動議の提出あるも、新年度予算を可決

議会のあらまし

3月定例議会

2月13日から3月25日までの41日間
にわたり、3月定例議会を開催しまし
た。

2月13日の本会議では、市長による
施政方針演説及び提出議案の説明が行
われました。施政方針では「横須賀復
活」と「誰も一人にさせないまち」を掲
げ、子育て支援や教育DX、浦賀再開
発などの重点施策を通じ、福祉と経済
の好循環による持続可能なまちづくり
を推進する方針が示されました。

また、提出議案のうち、令和7年度
分は2月16日からの前半の常任委員会
(分科会)に、令和8年度分は3月4日
からの後半の常任委員会(分科会)にそ
れぞれ付託され、詳細な審査を行いま
した。

2月24日から27日の本会議では、各
会派による代表質問や無党派議員によ
る個人質問が行われ、新年度予算をめ
ぐり市長や教育長らと熱い議論を交わ
しました。

(質問項目を3面に掲載)
3月23日の予算決算常任委員会では、
各分科会委員長からの報告に続き、総
括質疑を行い、2件の予算組み替え動
議が提出されました。質疑や討論の結
果、いずれの動議も賛成少数で否決さ
れました。

最終日の3月25日には、令和8年度
予算を含む各議案の討論・採決が行わ
れました。賛否が分かれた議案もあり
ましたが、最終的に全て可決しました。

(審議結果を4面に掲載)
最後に「イランをめぐる軍事行動の
即時停止と外交による平和的解決を求
める決議案」が提出され、全会一致で
可決しました。

町内会・自治会の デジタル化推進について審査

新年度予算では、デジタル化
を支援することにより、町内
会・自治会の負担軽減と会員の
加入促進につなげることを目的
にした「町内会・自治会デジタ
ル化推進補助金」が新規で盛り
込まれました。具体的にはデジ
タル化に必要な機器の購入や環
境整備に要する経費について、
1団体当たり最大10万円を助成
するものです。

また関連して、町内会・自治
会加入のメリットや活動内容等
を紹介する横須賀市連合町内会
公式ホームページの開設に加え
市からの送付物を電子データで
受け取ることが出来る連絡シス
テムの構築を支援する予算も計
上されており、これらの事業に
ついて委員会で詳細な質疑を交
わしました。

主な質疑

問 1団体最大10万円とあるが、
回数や期間に制限なく申請がで
きるのか。
答 1年に1回、最大3回まで
補助を予定している。

問 助成対
象となる経
費の範囲に
ついては、
パソコンの
購入以外に、
どこまでを
環境整備と
して認める
のか。
答 町内会
のデジタル
化として負
担軽減につ
ながるもの



であれば、対象としたい。機器
以外でも、インターネット環境
の整備や、ソフトウェアの定期
利用などを証明するものがあれ
ば支援していきたい。

問 どういったものが対象にな
るのか、町内会長・自治会長に
分かりやすいよう例示をする
よいと思うかがか。
答 丁寧に説明できるように資
料等を作り、4月以降、補助を
申請したい町内会に説明してい
きたい。

問 機器等の導入後、活用状況
をどのように把握し、必要な支
援につなげていくのか。
答 連合町内会にご意見を伺っ
たり、各町内会にアンケート調
査を実施したりして状況を把握
していきたい。

問 若い世代の加入促進も目的
にしているが、デジタル化によ
ってどのような変化を期待して
いるのか。
答 町内会の情報や加入するメ
リットを発信することで、加入
促進の一助になればいいと考え
ている。

問 デジタル化を推進すると各
行政センターと担当課の相談対
応の件数が増えると思うが、人
員体制の準備は。
答 地域コミュニケーション支援課が
窓口になり、相談担当として派
遣職員を配属する。

生成AIを活用したデジタル福祉 相談業務委託について審査

本市では、生成AI技術を活用した新たな相談体制の構築を進めています。具体的には、市民が24時間365日、時間や言語の違いを気にすることなく気軽に相談できる入口として、生成AIによる傾聴相談体制を整備するものです。この仕組みにより、市民から寄せられる困り事や悩みについて、まずAIが傾聴を行いながら内容の整理を支援し、必要な支援の方向性を把握した上で、必要に応じて職員による人支援へとつなげていくことを想定しています。AIによる傾聴機能を相談体制に取り入れることで、市民が孤立することなく支援につながる環境を整備し、「誰も一人にさせない」相談体制の充実を図ることを目的としています。委員会では業務委託の内容を含め幅広く事業全体の審査を行いました。

主な質疑

問 他都市における実用実績は。
答 株式会社ZーAI（ジアイ）と実証実験を行っており、既に柏市で実装している事例がある。

問 生成AIは一定程度寄り添う回答も可能と思うが、最終的には人による対応が重要であると考えられるがどうか。
答 生成AIは一定程度寄り添う回答も可能と思うが、最終的には人による対応が重要であると考えられるがどうか。



問 人による支援の重要性を踏まえつつ、生成AIと併用する形でよりよい支援の在り方を検討していく。
答 実証実験における一人当たりの平均相談時間は、ウェブサイトの閲覧時間による計測となるが、平均約17分である。

問 実証実験を踏まえた課題は。
答 市役所の開庁時間外の相談ニーズを把握できた点は大きな効果である。一方で、一定のやり取りをしないと有人支援につながらない仕組みや、利用者には質問が多く感じられる点などが課題として明らかになった。

問 本格導入にあたり、慎重な制度設計が必要ではないか。
答 福祉部門とも十分に連携し、本来あるべき姿を検証しながら、他都市の事例も踏まえ、適切な運用を検討していく。

ヘリコプター臨時離着陸場の 環境整備について審査

大規模災害時に土砂災害等により、陸路が使用できない場合を想定し、市営公園墓地の敷地を活用して、空路による物資輸送が円滑に行えるようヘリコプター臨時離着陸場の環境を整備するための経費について、令和8年度予算で提案され、委員会において審査を行いました。

主な質疑

問 整備する具体的な内容はそのようなものか。
答 夜間用LED投光器4台とワローラー付きかご台車2台を整備する予定。投光器は、可搬式で三脚の上に4本のアームが付いており、自由に動かし照らすことができる充電式のものとなる。また、台車は、運用する場所が芝生なので、通常の台車ではタイヤが芝生にめり込んでしまうため、



ワローラー付きのものとなる。
問 離着陸場には消火設備を整備するのか。
答 臨時離着陸場であり、市営公園墓地の芝生なので、消火設備は整備しないが、消防局と協議をして安全確保対策を講ずる。

包括的民間管理委託による インフラの維持管理について審査

2040年代に高齢者人口がピークを迎える一方、道路や公園等の維持管理を担う建設技術者の急減が見込まれており、従来の事後保全型の維持管理では、将来的に適切な管理水準の確保が困難となるおそれがあります。このため、予防保全型の維持管理へ転換するとともに、民間事業者との連携により道路と公園を一体的に包括委託することで、効率的かつ持続可能な維持管理体制への移行を図る必要があります。

本市でも、将来的な労働力不足や公共施設の老朽化を見据え、道路や公園の維持管理を効率化するための新たな手法を検討しています。その一環として、令和8年度より3か年、よこすか海岸通り周辺の約90ヘクタールを対象に、道路と公園の修繕・清掃・樹木管理などを民間事業者に一括して委託する「包括的民間管理委託」のトライアル実施が計画されました。

主な質疑

問 受託事業者はどのように決めるのか。
答 トライアルは随意契約、本格稼働後はプロポーザルで決定する。

問 どのような事業者と契約するのか。
答 防災協定を結んでいる組合組織の2団体でJV(共同企業体)を組んでいただき契約する考え。

問 受託事業者にメリットはあるのか。
答 本格稼働後は5年程の準備に向けた予算案を審査しました。

問 よこすか海岸通り周辺をトライアルエリアに選定した理由は。
答 街路樹がある大きな道路や細街路と4つの公園があり、多くの市民が集まるエリアのため選定した。

サポートルーム等の開設について審査

これまでの市内全小・中学校に相談員を配置し、「校内教育支援センター」で安心できる居場所づくりを進めてきましたが、市内の不登校児童生徒は依然として増加傾向にあり、居場所確保の必要性はより高まっている状況です。そこで、通常の学級での支援が必要な児童生徒への個別対応と、学校には登校できるものの教室に入ることが難しい児童生徒の校内の居場所として「サポートルーム」を新たに設置することや、


~サポートルームとは~
小・中学校において、様々な理由によって教室で過ごすことが難しい児童・生徒が、落ち着いた雰囲気の中で過ごすことができる、教室とは別の居場所です。

主な質疑

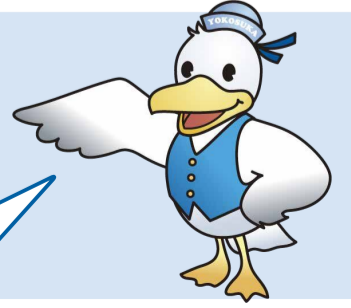
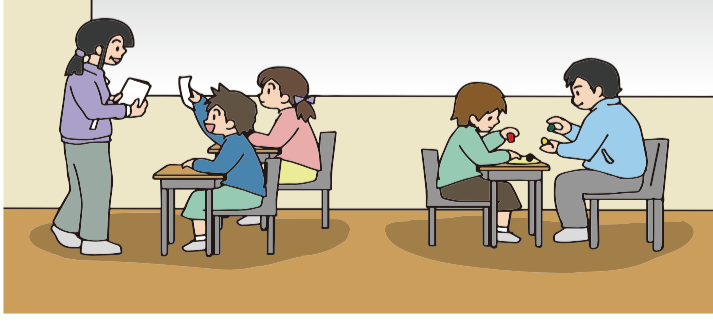
問 これまでのいじめ・不登校対策事業とどう違うのか。
答 サポートルームには担当教員を配置し、通級による指導(通常の学級とは別に個別の支援や指導を受ける指導形態)と校内教育支援センターの一体化により週5日開設する。

問 サポートルームは、各学校に1部屋という形になると思うが、1つの部屋に不登校の児童生徒と他の児童生徒を一緒にして教育を受けさせるといった考え方でよいのか。
答 部屋の運用については、学校と支援教育課で連携を取り、1部屋に限らず、児童生徒一人一人の状況を踏まえた丁寧な対応を進めていく。

横須賀市議会公式Xは
下の2次元コードから！



公式Xでは、市議会からのお知らせ等を発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

未来を担う若者支援検討協議会において 若者との意見交換会を実施

本市議会では令和7年3月に、未来を担う若者支援検討協議会を設置しました。少子高齢化が急速に進展する本市では、未来を担う若者が活躍できる地域社会の実現に向けて、若者の声を施策に反映する仕組みづくりや、若者の取組を後押しすることが重要です。

そこで本協議会では、「若者が活躍するまちづくり」に向けた必要な取組について検討を進めています。これまでに、11回の会議を実施し、関係部局から本市の若者施策の現状について聴き取りを行うとともに、各委員間での議論を重ねてまいりました。

また、4月26日には協議会で検討中の以下の内容に関して、当事者である若者から直接ご意見を伺う意見交換会を開催いたしました。(詳細は次号にて報告します。)

今後、いただいたご意見を協議会で丁寧に議論し施策につなげてまいります。

若者が活躍するまちづくりのため今後市が取り組むべき内容等

若者の声を聴く、 若者の声を反映する

- アンケート調査等による情報収集
- 若者の意見を聴く会議体の設置
- 審議会等の委員への若者の参画促進
- 若者に対するの政治や選挙意識の向上

若者がつながる、 若者とつながる

- 意識やトレンドの情報収集
- SNSを活用した情報発信
- 若者同士や異なる世代との交流



若者のチャレンジを応援する

- 自主的な活動を行う若者への支援
- U・I・Jターン就職に対する支援
- 人材の育成・確保を目的とした支援
- 市民一人一人が若者の活躍を応援する気運の醸成



関東学院大学との包括的 パートナーシップ協定に基づく取組

本市議会では、平成28年に関東学院大学と包括的パートナーシップ協定を結びました。議会が政策立案をする際に専門的な知見を得ることや、インターンシップなどで学生が議会に接する機会を設けることで市政への関心を深めるなど、相互の信頼関係に基づき、密接に連携し、協力をしています。

令和7年度は本市議会の代表として加藤眞道議長が、関東学院大学横浜・関内キャンパスにて行われた地方創生シンポジウムにてパネリストとして登壇したり、関東学院大学の地方創生特論(横須賀)での講義で外部講師を務めたりと、より深い関係づくりが行われました。本市議会としては日頃の取組を知っていただく貴重な機会であると同時に、学生からたくさんの刺激をもらい有意義な機会とすることができました。

また、4月26日に開催した意見交換会にも、牧瀬 稔教授をはじめ同大学の法学部の学生に参加いただき、多くの貴重な若者の意見を聞くことができました。いただいたご意見は、今後、市の取組の参考にさせていただきます。

本市議会は、今後も関東学院大学との連携をより一層図ることで、市民に開かれた議会を目指してまいります。



関東学院大学「地方創生特論(横須賀)」講義の様子

3月定例議会 代表質問・個人質問

発言通告の全文はこちら→



自由民主党
田辺昭人



- ①柔軟かつ責任ある財政運営に向けた決意について
- ②外部財源で市民サービス維持・向上を行う考えについて
- ③重点支援地方交付金の選択と集中について
- ④キャッシュレス化推進における地域企業との情報共有及び民間との連携に向けたビジョンについて
- ⑤幼稚園及び保育園の給食費について
- ⑥市立横須賀総合高校の今後の在り方について
- ⑦健康医療安全保障体制の構築について
- ⑧医療人材確保の支援策について
- ⑨民生委員の活動や負担増大の現状に対する認識について
- ⑩道路公園等の包括的民間委託について
- ⑪スポーツ施設における課題や安全性に係る取組について
- ⑫まちづくりの観点におけるバスタ追浜への期待について
- ⑬うわまち病院跡地の利用計画と上町地区の展望について
- ⑭仮称2号突堤の港湾機能に係る計画について
- ⑮水道管の更新や修繕、施設の長寿命化について
- ⑯横須賀火力発電所内の市民開放エリアを横須賀の新たな魅力発信の場として活用することについて
- ⑰郷土愛の醸成及び交流人口の増加に向けた取組について
- ⑱被災時の海上物資運搬における今後の取組について
- ⑲広域連携の必要性や意義に対する認識について
- ⑳今後の環境に関する情報発信や教育の方向性について
- ㉑自衛隊員やその家族が安心して生活できるよう、市としてさらなる取組を検討することについて

公明党
石山 満



- ①福祉政策の効果を測る包括的指標について
- ②中小企業・小規模事業者の賃上げ支援について
- ③ペロブスカイト次世代太陽電池の活用について
- ④メタコマースの導入について
- ⑤大河ドラマ館の設置について
- ⑥浦賀駅前周辺地区の活性化とモニュメント設置について
- ⑦RS・HPVワクチン助成などのワクチン政策について
- ⑧市立小学校給食費の無償化制度について
- ⑨電子黒板の導入拡大について
- ⑩配慮が必要な子どもへの支援体制について
- ⑪FM戦略プランにおける森崎アパートの整備について
- ⑫町内会・自治会のデジタル化推進について

一市民
堀りょういち



- ①市のビジョンを測定する方法の不在に対する指摘
- ②大型再開発における市の責任とビジョンの明確化
- ③事業見直し基準の不透明さと優先順位の不明瞭の指摘
- ④自然共生型レジャーの充実による子育て・経済振興
- ⑤放課後児童クラブの待機児童と大規模化への対策強化
- ⑥教職員の働き方改革への検証と実効性の担保
- ⑦不登校対策推進室の設置スケジュールと早期対応
- ⑧インクルーシブ教育の推進と公設での学習支援
- ⑨大規模再生可能エネルギー発電施設の抑制策の推進

研国会
工藤昭四郎



- ①空き貸室を児童・生徒に無料開放することについて
- ②公共交通計画を策定し実証実験を進めることについて
- ③市民病院における緩和ケア・看取り病棟の導入について
- ④退役艦船を活用した自衛隊資料館の誘致・整備について
- ⑤横須賀基地従業員の雇用と労働環境の改善について
- ⑥JR久里浜駅前にある三角地の活用について
- ⑦久里浜港と仙台港を結ぶフェリー航路の誘致について

日本共産党
ふじそのあき



- ①小中学校の教育環境整備における子どもへの影響
- ②高齢難聴者補聴器購入助成が予算化されたことについて
- ③中高年シングル女性が抱えている課題に対する支援
- ④芸術劇場の魅力向上と古墳を活かしたまちづくり
- ⑤旧軍港市転換法を活かしたまちづくりと米軍の交通教育

安川健人



- ①助け合いの文化を育む取組について
- ②筋トレ普及による健康寿命延伸の取組について

中川さおり



- ①民間所有地への市の関与原則について
- ②首長のガバナンス意識と説明責任について

令和8年3月定例議会 審議結果

○=賛成、×=反対、- =欠席

賛否が分かれた議案	会派					無会派				
	自由民主党	公明党	一市民	研政会	日本共産党	中川さおり	葉山なおし	ひろなか信太郎	藤野英明	安川健人
	14人	7人	5人	4人	3人					
令和7年度横須賀市下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○
横須賀芸術劇場天井改修その他工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○
横須賀芸術劇場天井改修その他電気設備工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○
令和8年度横須賀市一般会計予算	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○
令和8年度横須賀市特別会計国民健康保険費予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
令和8年度横須賀市特別会計介護保険費予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
令和8年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
令和8年度横須賀市水道事業会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
令和8年度横須賀市下水道事業会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
令和8年度横須賀市病院事業会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
博物館リニューアル事業者選考委員会条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
職員定数条例中改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
美術館条例中改正について	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○
企業立地等促進条例中改正について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
体育会館条例等中改正について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
市民活動サポートセンター条例中改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
横須賀市国民健康保険条例中改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
児童福祉施設の設備等に関する基準を定める条例等中改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
病児・病後児保育センター条例中改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
市立高等学校の教育職員及び市立中学校の任期付教育職員の給与等に関する条例中改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
都市公園条例等中改正について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
水道事業及び公共下水道事業業務委託事業者選定委員会条例中改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
横須賀市水道事業給水条例中改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
横須賀市下水道条例中改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
大矢部みどりの公園基盤施設設計建設業務(その1の1)請負契約の締結について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
横須賀市議会基本条例等中改正について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

※その他議案33件については、全会一致で可決しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。
 ※3月定例議会の議案採決時、公明党の内、二見英一議員(2月27日)及び藤野英明議員(2月27日)は欠席しました。
 ※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

会派所属議員名 令和8年3月25日現在

会派	議員名	議員名	議員名	議員名
自由民主党	南まさみ 加藤眞道(議長) 山本けんじゅ 泉谷 翔	青木秀介 大野忠之 大貫次郎 海老あやの	田辺昭人 渡辺光一 池田徳重	松岡和行 西郷宗範 高橋いずみ
公明党	土田弘之宣 二見英一	石山 満 川本 伸	関沢敏行 菅原恵美子	本石篤志
一市民	加藤ゆうすけ 堀りょういち	小林優人	竹岡 力	天白牧夫
研政会	伊関功滋	長谷川昇	工藤昭四郎	高橋英昭
日本共産党	大村洋子	井坂 直	ふじそのあき	

決議

件名	結果
イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和的解決を求める決議について	可決 (全会一致)

常任委員会の所管を変更

政策の一体的かつ機動的な推進と市民に分かりやすい体制整備のため、令和8年度行政組織の改正が行われました。脱炭素・自然環境保全・環境教育など多岐にわたる環境政策を俯瞰的かつ戦略的に推進するため経営企画部へ移管するとともに、これまでの環境部は「資源循環部」へ名称変更します。また、市長室へ広報機能を集約し、迅速かつ的確な情報発信力を強化します。

この改正に伴い、市議会においても常任委員会の所管を見直し、審査機能の充実と行政課題への対応力向上を図ります。併せて、各委員会の所管整理により、分野横断的な課題にも対応しやすい体制とし、市民サービスの向上と効率的な行政運営の実現を目指します。これらにより、今後の議会審査の充実にもつなげていきます。

令和8年6月定例議会の予定

開催日	会議名
6月8日(月)	議会運営委員会
6月9日(火)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
6月12日(金)	民生常任委員会(予算決算分科会) 都市整備常任委員会(予算決算分科会)
6月16日(火)	総務常任委員会(予算決算分科会) 教育安全常任委員会(予算決算分科会)
6月19日(金)	特別委員会(設置された場合に開会)
6月23日(火)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
6月25日(木)	議会運営委員会、本会議(14時)

6月10日(水)・15日(月)・17日(水)・22日(月)・24日(水)は予備日です。
 インターネットでもご覧になれます。(本会議は手話通訳も同時に行っています)
 時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。
 傍聴のご案内など最新の状況は市議会ホームページが議事課でご確認ください。

編集後記

いつもご覧いただいている本市議会だよりですが、次号から大幅にリニューアルとなります。より読みやすく、より親しみを持っていただけるよう、広報広聴会議で検討を重ねてまいりました。ぜひご期待ください！

編集：広報広聴会議(◎=委員長、○=副委員長)
 ◎川本 伸/○竹岡 力/高橋いずみ/大貫次郎/松岡和行/
 菅原恵美子(当日欠席)/堀りょういち/高橋英昭/ふじそのあき/
 ひろなか信太郎(オブザーバー)

次回
リニューアル!
乞うご期待!

